第二百十八號

NAMBEI SHIMPO

12 de JANEIRO de 1939

週刊南米

サンパウロ市ピーレスレー
モッタ三一八番地
發行所 南米新報社
購讀料 年一二
廣告料 段一〇七

清酒 東麒麟 鳳

言論

中西良介氏に問ふ

武士に二言は無い筈だ

△

去月二十八日付在リオ同盟通信員椎野豐君から左記の書面を附し、あなたの原稿が聖州新報社を經て卅日本社に送達されました。

『前略中西大佐の御希望に應じ左記同胞教育問題に關する大佐の個人的感想を御報知申上ます、出來得べくんば各社同時に御發表あらん事を希望いたします、本信は本日午后六時半聖市五邦字新聞社宛同時に御發送申上げました（はしがきは取捨御自由です――とて之れ眞に在伯同胞教育問題の根本義に觸れるの感がせられる――と附記してありました）』

所謂同胞教育問題の根本義に觸れると椎野君が前書をして居るので、どんな立派な議論か、日頃曾敬する陸軍代表者の中西さんの事だから定めし吾意を強ふする い足る御名論であらうと吾社編輯部同人は非常な期待と歡喜を以て玉稿を拜見させて戴きました、然るに『云ふ迄も無く教育問題は在留同胞の爲めの問題で無く伯國の問題である』の條りに至り、ハテ妙な議論だぞ……と思ひがけ無く突如路傍で頭をガーンとブンなぐられたやうな氣持ちになりました。

序でに本文を草するに當り一寸前以て御斷りをして置きますが、あなたにはまだ御在伯日尚淺く御存じないでせうが、吾が南米新報社は單なる一通信を以て能事とする新聞社ではなく吾社同人は先年報國日本人會の如き日本主義團体を組織したことに依つても周知の如く我々は如何なる世界の涯に居つても、また如何に世の中が變らうとも日本人の血を享けて居る以上飽くまでこの貴い血を子々孫々に、更に日本人が本有する美質美德を世界に扶植培養して行きたいとする大和民族の使命感に活き、之れを南米新報といふ言論機關を通じて斷えず長養して行かう、勿論在留國の公序良俗を尊重し伯國生れの謂ゆる日系伯國市民なる我々の第二世に對しては優秀なる伯國市民たらしめんが爲めに、彼等の內的生活に民族固有の美質美德を自覺せしめやうと微力ながら努力して居るものであります、斯樣な氣持を以て新聞を編輯して居るので從つて言ふことに我々にはオジヨーズがありません、何でもムキ出しに白ならば白、黑ならば黑とハツキリ言ひたい方であります、然しにくまれ口をたゝく我々ですが眞意は『屁に鞭うつあへて憚らじ我が怒る心私ならねば』に盡きてゐる事を御賢察下さい。

△

それで玉稿を拜讀しつゝ吾が編輯部員は余りの意外な誤迷論に何れも驚き且つ憤慨しました。

甲『之れは一体何んだ、こんな意見なら是れまで耳にタコが出來る埃臭ぬけ外交官や似非日本人から聞かされたんだ』

乙『中西武官と云へば帝國陸軍の代表だ即ち日本精神體得の代表者だ、然も先般來聖した時大正學校でどんな講演をしたか、又銃劍道聯盟の道場に來た時どんな事を云つたかよもや忘れはしまい、そして如何にみんなを激勵して強い日本魂意識に燃えしめたか、その當の本人からこの意見とは、何が何んだか分らんなア』

丙『心の同志と信じ切つて居た俺は裏切り者と云ひたい、二枚舌を使つたからだ、武士に二言は無いと云ふが同胞教育論に關する限り確に二枚舌を使つて居る、實にクシカラン男だ』

丁『中西武官はサンパウロに來た時は實に親母しい我が帝國陸軍の代表だなアと思つて居たのに、たとへ中西個人の意見とは云へ、彼の爲めに此の論有るを衷心惜しむよ』

△

我が編輯部で社員があなたの原稿を見て俄かに憤慨した次第は大慨以上のやうでありました、それで他社はどうか知らんが本社は本社の主張するところに反する投書と認め遺憾ながら沒書することに致しまして、前號に於て取敢へず『中西武官の養子論を駁す』と云ふ社說を公にして置いたやうな次第であります、然る處右社說を公にした翌々日の日伯紙に普及會の葛岡君が『邦語教育問題に關する中西武官の說を評す』と題し堂々たる反駁文を發表されました、實は我々は各社があなたの原稿を發表したことを知り、普及會の方で之れを默つて居るのはヘンだ、誰れか何んとか反駁しなければウソだと思つて居たのです、若しあなたが陸軍の意見として述べられたのなら問題は自ら別ですがあなた自身が斷つて居られるやうに『中西良介個人の意見』なれば大に論駁を加へて何故に在伯邦人が斯くも、子弟の教育問題に苦心をして居るか、その理想その精神を忌憚なく述べ各自の反省に資すべきである――と思つて居た際、葛岡君の反駁論が日伯紙に揭載されたので『そう無くちやいけない』と我々は葛岡君の說に全幅の支持をおしまない者であります、同君の所論は則ち我々が言はむとする凡てを克く盡して居るものと存じますから、玆に改めてクド〳〵しく申上ませぬが、葛岡君の『日本語教授の意義、必要の程度を武官の說の樣に眺めて濟まされるものなら、在伯同胞は永い過去を通じて、あれ程の苦しみをする必要も無かつたらうし――在伯同胞が日本語小學校を經營維持する爲めにどれだけの苦心をし、犧牲を拂つて來たか現在の難關打破にどれだけ心血を注いで苦慮して居るか此等が全部無駄な的はづれのものだと冷笑し去るつもりなのであらうか？』は一應誰人も懷く疑問であらうが、あなたは決して我々三十年の苦心を冷笑し去るほどの冷血漢では無いと信じて居ます、つまり本紙前號にも申述べた如く日本民族の海外移住を養子に行つたとする考へ方からして、既に意見の根本的相違があるのだと思ひます。

△

尤も人の意見は自由で、あなたが持たる、意見は、あなたの御意見だから、それを俺達の通りに直せと強ひるわけにも參りませんが我々は日本民族の海外發展と云ふことを、もつと帆範的に考へて居ります、否たゞ考へて居るだけでは無いそれを一つの不動信念として居ります、若し何等の理想も信念も持ち合はせぬ海外發展なら、教育問題も子弟の將來も有つたものではありません『まあい、何でも成るやうに成れ』でせうから是れを客觀的に論評すれば『日本人は海外發展なんて大きな事を云ふが發展ぢやない海外棄民だ、その昔アフリカあたりの黑人が買はれて海外に流れて行つたのと撰ぶところ無し』と云ふ議論になります。

あなたの大先輩現文相荒木大將閣下は昨年九月本紙に連載紹介しました『鎭國日本より世界日本へ』の最後の一節に左の如く論じられて居りました。

『開闢以來の日本の眞價を世界に示し、我々の理想を高揚し、平和に關する思想を異にして居る所以を示すにあらずんば最後の解決は出來ない、之れ即ち八荒一宇の御理想を顯現すべく自然に與へられたる大任遂行の時である、斯の如き狀態に對しては今この大任を自覺しこの大任を果さなければならぬ』

と、即ち我々は日本民族の海外發展とは斯の大任の自覺顯現に外ならぬと信じて疑ませぬ、この自覺信念の濃淡有無の差異が海外に於けるあらゆる日本人問題殊に第二世教育問題の如き直接切實したる問題の解釋に重大な影響を與へ、今次あなたが御發表になつた意見と我々との見解に大きな距離を見出し、甚だ遺憾に堪へない次第であります。

我々は今にして、あなたが御來聖の折天正小學校で滿堂を感激せしめた熱辯『皆さんの子孫にはいつまでも日本人の血が通つてゐる以上立派な大和民族であります、人間お互の約束ではない、切るにも切られず捨てるにも捨てられない血のつながりがある以上は、未來永劫大日本帝國臣民であります天皇陛下の赤子であります、私は皆樣を神の光の遠端としてブラジルに來てゐる者と解します』と云ふのが、どこまでも大日本皇國臣民中西良介の信念であり、それが本當にあなたの肚の底からほとばしり出た熱辯で有つたことを信じ度いと思つて居ります が如何なものでありませうか？

（昭和一四・一・七稿）

東亞新秩序の建設とは

世界新秩序再建

是を以て現狀を打破する事は日本の歷史的大使命

△

先きに發したる我が政府の中外聲明が、世界諸列强に呼び起した反響が決して好いものでなかつたとは當然の事である。それが單に武漢陷落後の新段階に處する帝國の態度を中外に示した丈のものであるならば、極東に於ける事態の一進展に過ぎぬが、それがヒツトラー的爆彈宣言ではなかつたらうか、世界の舊體制の御破算の宣言であり、此の意味で國際關係の根底しを要求したものであるからである。

△

歐洲より締め出され、今や內亂に次ぐに反亂を以てするソヴエートロシアの孤立化と共に一歩々々凋落の途をたどる世界〇〇體制に對して蔣政權と等しく余命なしとの決定的診斷を與へたものであるからである。

△

日本の意圖する東亞の新秩序の建設は、單に東亞、アジアの問題たるに止らずそれは世界新秩序の再建を目指すものであり、歐米諸國によつて鐵則の如く堅持されて來た過去の諸原則と歷史の進展を阻碍する不均衡なる現狀を打破する歷史的な發展に則したる新しき平和體制の創造である。從つて今後の日本は世界を相手とする建設創造であり、實質的宣戰布告であらねばならぬ。

△

かゝる意味に於て、今後の支那建設が、常に英、佛の支那政權にあへぐ蔣政權下の一新聞が英國外交の動搖らさぬものであるとその援支政策に對して怨言を述べてゐる一方、英國が極東問題を平和的に解決するため日本と協定を結びはせぬかとの不安をも表明してゐる而して同紙は

然しながら英國が極東の事態を憂慮してゐる點及び英米兩國の關係が最近頓に密接を加へたる點より推して必ずや支那事態に對してこれら兩國が共同動作に出ることがあらう。

英米佛と蘇の四個國は日本を經濟的に壓迫し其の自滅を待つと云ふ政策

△

斷末魔にあへぐ蔣政權の一新聞が英國外交の動搖らさぬものであるとその援支政策に對して怨言を述べてゐる一方、英國が極東問題を平和的に解決するため日本と協定を結びはせぬかとの不安をも表明してゐる而して同紙は

然しながら英國が極東の事態を憂慮してゐる點及び英米兩國の關係が最近頓に密接を加へたる點より推して必ずや支那事態に對してこれら兩國が共同動作に出ることがあらう。

と述べ英米兩國の對日共同干涉に期待をかけてゐるが米國が如何なる事情の下にそれを一つの不動信念として居ります、若し何等の理想も信念も持ち合はせぬ海外發展なら、教育問題も子弟の將來も有つたものではありません『まあい、何でも成るやうに成れ』でせうから是れを客觀的に論評すれば『日本人は海外發展なんて大きな事を云ふが發展ぢやない海外棄民だ、その昔アフリカあたりの黑人が買はれて海外に流れて行つたのと撰ぶところ無し』と云ふ議論になります。

あなたの大先輩現文相荒木大將閣下は昨年九月本紙に連載紹介しました『鎭國日本より世界日本へ』の最後の一節に左の如く論じられて居りました。

『開闢以來の日本の眞價を世界に示し、我々の理想を高揚し、平和に關する思想を異にして居る所以を示すにあらずんば最後の解決は出來ない、之れ即ち八荒一宇の御理想を顯現すべく自然に與へられたる大任遂行の時である、斯の如き狀態に對しては今この大任を自覺しこの大任を果さなければならぬ』

と、即ち我々は日本民族の海外發展とは斯の大任の自覺顯現に外ならぬと信じて疑ませぬ、この自覺信念の濃淡有無の差異が海外に於けるあらゆる日本人問題殊に第二世教育問題の如き直接切實したる問題の解釋に重大な影響を與へ、今次あなたが御發表になつた意見と我々との見解に大きな距離を見出し、甚だ遺憾に堪へない次第であります。

我々は今にして、あなたが御來聖の折天正小學校で滿堂を感激せしめた熱辯『皆さんの子孫にはいつまでも日本人の血が通つてゐる以上立派な大和民族であります、人間お互の約束ではない、切るにも切られず捨てるにも捨てられない血のつながりがある以上は、未來永劫大日本帝國臣民であります天皇陛下の赤子であります、私は皆樣を神の光の遠端としてブラジルに來てゐる者と解します』と云ふのが、どこまでも大日本皇國臣民中西良介の信念であり、それが本當にあなたの肚の底からほとばしり出た熱辯で有つたことを信じ度いと思つて居ります が如何なものでありませうか？

（昭和一四・一・七稿）

△

米國が在支權益の最も大きな英國を動かし、それに隨行する佛をも入れて九ケ國條約をもち出して對日共同干涉に出でんとしたのも亞細亞に於ける盟主日本の主導性がやがて世界の主導的地位にまで發展する見透しを持つたからであらうしでなくしてその對支投資額が僅かに全米婦人の一ケ年の化粧代以上に出でない米國が、山積する國內重要問題を遷延してまで極東の事態に捲きこまれる愚は爲さないだらう。

△

假令、否十中八九英米佛等がソヴエートと共に日本を經濟的に壓迫し、その自滅をまつといふ政策に來ることは考へられることであり、考へなければなるまい

△

歐米列强の動向を、問題視すること自體歐米依存を告白することであらう。日

（第二面へ續く）

CASA TOZAN LTDA.
COMMISSARIOS
Phone : 2105 e 2106 - Endereço Teleg. "TOZAN"
Praca Maua, 25 - Caixa Postal, 911
SANTOS

珈琲コミッサリオ
カーザ東山

東山銀行
伯貨定期預金
一ケ年 六歩

サンパウロ事務所
ルア・フロレンシオ・デ・アブレウ 七四－七六
郵函 五二八 サンパウロ
電話 三一－一一四一番
三一－一一四二番
三一－一一四三番

リンス事務所
アベニーダ ボルンタリオ
ロザリーノ シルバ一四七
郵函 一一番
電話 一四七

Banco Especie de Yokohama, Ltd.
The Yokohama Specie Bank, Ltd
Rua da Candelaria No, 23
Caixa Postal, 380 - Rio de Janeiro

切り取つて手紙の表にはられたし

◆伯貨預金
定期預金六ケ月以上利率當分年三歩五厘の割であります
外に當座預金特別當座預金など御便宜御取扱ひ申上げます

◆日本貨預金

◆鄉里送金
新爲替管理令により內地向送金は一口四百ミルを乞許可さる、事となりました、但し送金許可獲得には多少の遲延は免かれません
尙新令により特別稅として送金額の六分（6％）を、ブラジル銀行へ納入せねばなりませんから送金額以外に六分（6％）の金額を加へ御送金下さい、特別稅六分（6％）御送金なき時は御送金金額中より差引き殘額內地向送金申上げる事と致します

横濱正金銀行
リオ・デ・ジヤネイロ支店

今週話題

南米珍聞

世界第一の大國族

豫て計劃され居た紐育世界大博覽會本年の世界第一の星條旗掲揚式は昨年十一月の休戰記念日を期して『コート・オブ・ビース』に於て參加國六十二個國の代表者及び十數万の市民參列の上盛大に擧行された。世界大博參加四十八州の主事陸軍少將ノーラン氏が司會し、ラグアデア市長は『世界平和』の題下に祝辭を陳べ紐育地方陸軍司令官ハスケル少將並に鎭守府司令官（海軍第三管區）ウッドワード少將及び陸軍第二管區司令官ドラム少將及び濠洲大博事務總長マグレゴー氏大博會長ウエーレン氏等の演說があり、在鄉軍人團代表、陸、海軍音樂隊の國家奏樂裡に二十一發の禮砲は殷々として フラッシングの野に轟き渡り、六十二個國の各國族が揚揚された。この世界第一の國族は幅九十呎、長二百三十呎、星條は七呎の幅を有し、四十八個の星は各五呎の直經を有し總重量一千一百封度、縫縫の距離は八哩半あると云ふ

外國々族濫用

皇軍が漢口に入城するや我が將兵の目に映じたものは、獨逸、伊太利の國旗を附した建物の多りにも多きことであつた調査によると其の大半は漢口政府所有のもので、蔣介石は漢口拋棄を決意するや紡績、印刷局、銀行など、すべての所有財產を獨逸、伊太利人に讓渡したもの、如く表面を裝ひ、漢口隨一の大建築物たる四明銀行の如きは獨逸人名義のレストラントと化して居た、我が軍は漢口政府との契約はこれを認めずとの政府の聲明に基き全部敵產として處理した。

事變以來戰線に參加し活躍してゐる朝鮮人は多數に上つてゐるが、今次南支攻略に當つても八十余名の朝鮮人が通譯として活躍してゐる。

關釜トンネル實現可能性

朝鮮海峽海底トンネルに就て去る八月以來建設局技師渡邊貫博士廣田孝一の兩氏に依つて二回に亘る現地の地質調査が行はれその結果が定例局長會議の席上鐵相に正式に報告された。この調査に依れば陸地に關する限り充分の可能性が認められたので國鐵では殘る海底地質の調査に向つて着々研究の歩を進めること、なつてゐる。この調査の結果に依り工事に着手することが可能となれば工事の規模の宏大さに於ては世界一であり國鐵のトンネル工事技術を以てすればこの大工事の實現性は百パーセントと見られてゐる。ルートは起点を內地に、玄海灘の海底をくゞり對岸朝鮮に至るもので、此海底距離百二十キロ、列車は海底六十メートルの地底を走らせ、ゲーヂは大陸との連絡上勿論廣軌を敷設し、この費用は單線として約十億圓工事年限は相當長年を必要とするが實現の曉は現在關釜間七時間半を特急列車で僅々二時間に短縮される譯である。

國防獻金取消

【桑港特報】世界の戰史に燦たる一頁を飾つて、南支攻略は驚くべき實力を發揮し僅かに十日間にして遂に廣東を攻略したが、皇軍廣東進擊の報に最も驚いたのは、桑港支那人街の約二万の支那人で、主として彼等は廣東人が多いため、其當日の如き雨降るグランド街とジャクソン街角に擴聲機をすえつけ、其の後の廣東風景を放送すると共に、廣東防衛軍の無能と蔣介石が廣東を無視して、これが救護の擧に出でなかつたことを切齒扼腕して憤慨するもの多く、今や支那街は憂色の深いものがある一方六大會社では豫て全米支那人より募集金約七十万弗の送金を取消し、廣東軍主將余漢謀あて送られる筈の飛行機購入費の義金も斷然送金せずと決議し、祖國要人の無能ぶりにさすがの彼等も呆れて居る、尙ほ『一椀の飯』その他の運動により、あつめた金も今後は一仙たりとも支那へは送らないと決議したと傳へられて居る。

說園

青年よ信念を培へ

信念の下に何時でも斃れよ

△

凡そ人間は思想に依り支配され、思想に依り活動することは否定し得ない事實である、されば、その時代の思想は、その時代の世相を表現するものであり生活狀態を物語るものである、之れを近く日本の歷史について考へて見ても、彼の元祿、享保の時代、文化文政の時代は武士的思想が漸くすたれ、惰弱な思想が横溢した時代であるから、當時の人々の思想は、また極めて奢侈淫逸に流れてゐた、又明治維新當時の思想は一般に永い鎖國の迷夢から覺めて、諸事改新に向つて進む、即ち進歩的思想が充滿したから政治上に於ても、生活上に於ても一大變革が行はれ、當時の世相は歷史の說くが如　緊張したものであつた。

△

翻つて近時日本及び日本人の思想的傾向はどうであるか、また今日の青年が如何なる思想を有し、その思想によつて如何に支配を受け、また受けんとしつゝあるかと云ふに目前の理想、目前の平　、而して目前の物慾に魂を失つてゐる、それを現實に要求して居るのである、然らば斯の如き影響は何處から來たか、自由民主、社會、共產主義はその破片たるに外ならないのである、中には、一天萬上大君の有難きことはよく承知してゐるが、共產、自由主義的な目先の利害關係に於てすら、直ちに精神に動搖を來し、寸時もその精神が定らぬ、從つて國家の成立を疑ひ、日本人でありながら皇國々體の本質を疑ひ國風に對して信念を缺くに至る、誠になげかはしきことである。

△

併しながら、是れは偏に青年のみの責任ではない、拜歐思想を內藏する爲政者の責任であり、現社會に流布された惡質な書物が然らしめたものである。

△

斯かる反日本精神的社會狀勢を一變さすことは、日本主義實踐運動に參加してゐる人々の重大責務である

明治維新の建設諸先輩は當時こと〳〵く是れ名も無き三十歲前後の青年であつた、昭和維新も恐らく青年の手に依つて完成せられるであらう、縱令海外に在るものと雖も日本人社會を形成するところ必す此の昭和維新なかるべからず。

如何なる人と雖も純正日本主義思想を奉ずれば、それが直ちに一大信念となり鐵壁の如き良心となる、その良心を以て進め、インド獨立運動の烽火を擧げたガンヂーは『予は印度民族として良心を最も尊重する一人である、この信念の爲め處罰さるゝならば甘んじて其處罰たる名譽を擔ふ、而して信念の徹底を期す』と叫んでゐる、印度人に於てすら斯の如き信念の把握がある、日本人に於て尙然りではないか、かゝる信念無きところに敎育問題の解決無く、その資格も無し、況んや彼の昭知維新の如き大業おやである。

△

今や、祖國に於ては忠勇なる將共が全支を猛虎の如く奮戰してゐる、その如き勇氣をもつて、昭和維新斷行へり烽火を擧げる時、青年は須らく生命奉還を以て闘へ、現實社會における反日本精神に基く文化、思想が存續する限り、眞の永遠の平和は實現せざるべく、維新の完成なきところに徹底的世界人類皇化は期すべくもない。

△

最早、在伯邦人社會の無批判事大思想のエゴイズム沒落の一大彈機である、彼等は單に金錢萬能主義を除外すれば何物も無いのである、故に再び叫ぶ、純正日本主義の下に偉大なる信念を培へ、その信念のもとに時代革新の到來があり、永遠の世界平和と建設の原動力がある。

屠牛の悲鳴にも似たるスターリンの聲

防共戰線は全面的に大勝利だ

スローガンを評す

△

蘇國はまたしても去月七日に十月革命記念日を盛大に祝賀し、例の行事を行つた、第廿一年の記念祭である、例により赤い廣場に於けるスターリンの閱兵式、共產黨青年の示威行列、ラヂオの記念放送、各工場や農場や倶樂部に於ける祝賀式、劇場や活動寫眞館の開放等蘇國は全國を擧げてお祭り氣分を橫溢せしめたやうである。

△

然し之等の赤い行事も最早今日では昔日の如き示威的効果を現はさない、嘗て赤い廣場の閱兵式にモスクワの空を覆ふて飛來した赤色空軍の威容に度膽を拔かれて、赤軍は强いぞ、と感知してゐるが、共產、自由主義的な目先の利害關係に於てすら、直ちに精神に動搖を來し、寸時もその精神が定らぬ、從つて國家の成立を疑ひ、日本人でありながら皇國々體の本質を疑ひ國風に對して信念を缺くに至る、誠になげかはしきことである。

△

併しながら、是れは偏に青年のみの責任ではない、拜歐思想を內藏する爲政者の責任であり、現社會に流布された惡質な書物が然らしめたものである。

△

斯かる反日本精神的社會狀勢を一變さすことは、日本主義實踐運動に參加してゐる人々の重大責務である

明治維新の建設諸先輩は當時こと〳〵く是れ名も無き三十歲前後の青年であつた、昭和維新も恐らく青年の手に依つて完成せられるであらう、縱令海外に在るものと雖も日本人社會を形成するところ必す此の昭和維新なかるべからず。

如何なる人と雖も純正日本主義思想を奉ずれば、それが直ちに一大信念となり鐵壁の如き良心となる、その良心を以て進め、インド獨立運動の烽火を擧げたガンヂーは『予は印度民族として良心を最も尊重する一人である、この信念の爲め處罰さるゝならば甘んじて其處罰たる名譽を擔ふ、而して信念の徹底を期す』と叫んでゐる、印度人に於てすら斯の如き信念の把握がある、日本人に於て尙然りではないか、かゝる信念無きところに敎育問題の解決無く、その資格も無し、況んや彼の昭知維新の如き大業おやである。

△

今や、祖國に於ては忠勇なる將共が全支を猛虎の如く奮戰してゐる、その如き勇氣をもつて、昭和維新斷行へり烽火を擧げる時、青年は須らく生命奉還を以て闘へ、現實社會における反日本精神に基く文化、思想が存續する限り、眞の永遠の平和は實現せざるべく、維新の完成なきところに徹底的世界人類皇化は期すべくもない。

△

最早、在伯邦人社會の無批判事大思想のエゴイズム沒落の一大彈機である、彼等は單に金錢萬能主義を除外すれば何物も無いのである、故に再び叫ぶ、純正日本主義の下に偉大なる信念を培へ、その信念のもとに時代革新の到來があり、永遠の世界平和と建設の原動力

彼は何故ファシストに最大の恐怖を感ずるか

之に追隨模倣するは笑止

△

スターリンは何故トロツキストとファシーストとに最大の恐怖を感ずるかといふと、彼とトロツキストは世界革命の理論と戰術とに就いて最も恐るべき見解を有してゐるし、ファシーストは其の理論と戰術の點に於てコムミユニストの最も恐るべき敵だと思つてゐるからである、從つてスターリンがトロツキイやヒットラーの理論と戰術とに知らず識らず追隨模倣するのは極めて自然である、彼は其國際色の濃化を示してゐる

第一のスローガンに於て先づ『十月革命廿一周年に萬歲』を唱へた後第二のスローガンに於て『全世界に於ける階級上の同胞、資本の囚人、ファシストテロルの犧牲者、勞働階級の勝利のために戰ふ闘士に同胞の挨拶を贈る』と叫び、第三のスローガンに於て『萬國のプロレタリヤと虐げられた植民地諸國民とに解放闘爭の旗を高く押し立てよ』と命じ『全世界に於けるプロレタリヤ革命萬歲』を唱へる等、第八のスローガンまでは全く共產主義の革命の世界的實現のために萬國のゝプロレタリヤの參加を要請するものである。

△

スターリンの一國社會主義建設可能論の勝利以來暫らく低調を示してゐたソ國スローガンの國際色は、近年來一年と其濃度を增し、今回のスローガンに至つて再びレーニン時代のスローガンを想はせるが如き高調

△

其處で彼は一國社會主義建設の可能をもまた共產主義と同樣永久の將來に於ける理想として『ソ國が今日の如く資本主義諸國やファシースト諸國に包圍されてゐる限り一國社會主義の建設は、まだ〳〵容易の事ではない』と兜を拔いでしまつた、そして世界的に共產主義革命を實現するには勿論蘇國一國內に社會主義を實現するためにも世界プロレタリヤの參加協力を求めねばならぬといふ結論に到達したのである。

△

ソ國は今や全く混亂の坩堝である、最近國際聯盟に於て外務人民委員長リトヴイノフの逃べた演說を見ても、その云ふ所は全く支離滅裂で、殆ど泣訴に等しい、彼は其の演說に於て歐洲大戰に於てドイツが侵略國であつたといふ前提の下に國際聯盟存在の意義を認めてゐるが、然らば英佛露は當時侵略的野心を持てゐなかつたかといふと、共產主義者の立場から云ふと決してさうではない、彼等に依ると、歐洲大戰は侵略國同志の戰爭だつた筈である今になつて俄にドイツのみを侵略國とし、英佛露を防衛國であつたかの如く說明せんとするのは、要するにソ國の國際聯盟加入辯明と英佛に對する秋波とに外ならない。

△

リトヴイーノフは更に其演說中に於て『日獨伊等が其の鋒鋒を現はし始めた頃

歐洲の國々……(一)

ふ迷に就去か右か左か

——◇——

防共なる觀念は一言にして云へば國民主義を基礎にした觀念と云へる從つて今日國民主義國家間の共通した連帶は防共以外にあり得ない、それは防共と云ふ事即ち防共以外ならぬ。

——◇——

斯る意味で防共諸國家間の共通した連帶は防共以外にあり得ない、それは防共と云ふ事即ち防共以外ならぬ。

——◇——

斯かる意味から歐洲に於ける外交問題を見てゆくとナチス・ドイツがファシヨ・イタリイと握手してロシアを孤立させる即ちコミンタン・ルートを切斷することに基礎を置いて凡ての外交政策を行つてゐることが分明する、更に歐洲外交に言語からして消極的なアンチ・コミンタン(防共)が使用されるのは無理からぬ事である、と同時に實際問題としてこれは自然でありて政策的に强力である。

——○——

斯かる意味から歐洲に於ける外交問題を見てゆくとナチス・ドイツがファシヨ・イタリイと握手してロシアを孤立させる即ちコミンタン・ルートを切斷することに基礎を置いて凡ての外交政策を行つてゐることが分明する、更に歐洲外交問題が複雜化するに從つて一般識者の殊に注意すべき點に、例へば表裏的な英・米の通商關係とか或は獨・佛外交調整とか云ふ單なる外見上の成果ではなしに、もつと根本的な如何にすればソビエット・ロシアが孤立するか、コミンタン・ルートが切斷されるかにその重點を置くべき事である。

——◇——

チエツコ『問題をめぐる外交は斯る點に於てその最も代表的なものであり、此の問題の中心をなしてゐる國際聯盟か其の實力を發動せしめて居れば、今日の如き日獨伊の强力な防共樞軸は完成しなかつたであらうこの模樣では國際聯盟と之に網羅される諸國とは、假令日獨伊を處置しようと決意するに至つても最早何うすることも出來ないやうに成長する時が來るかも知れない』と悲鳴を擧げてゐる昨年來彼が屢々『若し國際聯盟が日獨伊を制裁しなければ、ソ國一國だけでも彼等を制裁して見せるであらう』と大見得を切つたあの芝居は今何處へ行つたのであらうか?

△

居所へ引かる、屠牛の聲は悲しいと云ふ、ソ國が昨年スローガンに外交演說に其の內外政策に現はす聲は何といふ悲調に富んだものであらう、之に反し防共戰線は今や全面的に大勝利である、我國が日獨伊防共協定をソ國革命廿一周年記念日と前後して祝つた意義は此處にある。

國婦・愛婦の勢力爭ひ

厚生省に善處を要望さる

就後婦人團體の活動のうち白衣の國防婦人會、國防色の愛國婦人會、此の二つの團體の動きは最も活潑であり、各方面から感謝されて居るが、最近兩團體の勢力爭ひから事每に相反目、猛烈な會員奪取戰は勿論、お互に對手を悪謗し合ひ、各種の會合、催し物等に際し非常な支障を來す場合もあるので、兩團體名譽のために兩者合併を勸說して來た事もあるが、未だに感情的に對立して非離を買つてゐる際、恩賜財團軍人援護會に關する全國學務部長會議の席上に於ても去る十二日、岩重京都府學務部長はじめ各部長から此の問題が取上げられ、痛烈に兩者のいがみ合ひを暴露して厚生省當局の善處方を要望した岩重部長が說明した京都府の實狀は

國婦、愛婦兩者共徒らに競爭し、例へば名譽の戰死者の葬儀で玉串奉典の順序が爭つて見たり、已むを得ず兩者の顏を立てる意味で同時參拜の方法を執つてその場をすましたり事すらある、一般會員は兩者の義理に斷りきれずに兩團體に加入してゐるものも多く、之等の會員は午前中は國婦の襷、午後は愛婦の襷がけで兩者の會合に出席してゐる殊に滑稽なのは兩方の襷を十文字にかけて義理をたてたり、實に見苦しい爭ひを演じて居る。

と云ふもので、苦笑し合つた、兩團體に對しては各府縣としても直接統制指導の權限がないとしても新戰時態勢下に於いて統合問題は緊急な事として厚生省でも積極的に兩團體幹部へ働きかける事になつた

【東京特報】

(第一面より續く)

本國民が既に長期建設戰の難事を知りつくしてゐる。然も東亞の新秩序、否世界の新秩序を建設せんとする歷史的大使命の前に一物も惜しむことなく、生命をも捧げて、廣范たる支那全土に聖戰と建設を遂行しつゝある事實こそ力である。それには一抹たに歐米列强に右顧左眄する分子は存しない。此の力の前には百妙の外交も、やがて頭をたれて降るであらう。

齒科助手入用

至急二名入用無經驗ニテモ可、勉强の余暇ヲ與フ

希望者ハ本社迄

告示

本邦人諸團体調査ニ關スル件

從來當館內本邦人諸團体ニ對スル聯絡通信ハ昭和十一年十一月調各種團体表ニ基キ之ヲ行ヒ居リタル處其後各地方共狀況ノ變遷ニ伴ト改變不尠ヤニ認メラレタルニ付今般更メテ管內諸團体調査ヲ施行ス就テハ左記各項明年二月末日迄ニ當館宛其中相成度

昭和十三年十二月九日

在サンパウロ帝國總領事館

記

一、團体名
二、所在地線、驛、町、耕地又ハ植民地、郵函
三、創立年月日
四、會長又ハ理事名
五、常任幹事又ハ書記名
六、會員數
七、目的
八、組織
九、活動範圍(事業)並業蹟
十、維持方法(所有財產並ニ基金ノ有無ヲ含ム)
十一、其他參考事項

寻人廣告

左記者現住所承知致度ニ付本人又ハ御存知ノ向ハ至急當館宛御通知相成度シ

記

Yasuji Takeuchi
高知縣高知郡北原村
元バラー州南米拓植會社
アカラ植民地在住
北海道人　藤江出來太
右者現住所承知致度ニ付本人又ハ御存知ノ向ハ當館迄御一報相煩度シ
昭和十三年十二月二十七日
在サンパウロ帝國總領事館

寫眞機

●中古寫眞機讓リ度シ
野外用組立式先細寫眞暗箱、取枠三、三脚及取付台共大キサ13X18(曹通カビネ)但レンズ無シ
御問合はせは左記へ
聖市郵函　一二四三

料亭富田家

聖市　コンセレイロ　フルタドー街
一三五　電話　二一六七六七

料亭青柳

聖市　ルア　タバチンゲーラ　五六
電話　二一一九四八番

カーザ東山
ノロエステ總代理店
間崎三三一
プロミツソン
郵函　一六番
電話　五〇番

社告

本紙購讀料
從前通り年極廿三ミル

本紙廣告は
本年より一段七十ミルに改正致します
昭和十四年元旦
南米新報社

地方外交員數名
但し保証人を要す
右急募す
●希望者は履歴書携帶午后御來談の事

Dr. Alarico Franco Caiuby
ADVOGADO E
Tsuguo Kishimoto
TRADUTOR PUBLICO JURAMENTADO
Rua Jose Bonifacio. 233
(3 and Salas 310-311 e 312)
Caixa Postal. 1124 Tel 2-1137
S. PAULO

齒科醫
寶臣衛
マリリヤ市キンゼ デノーベンブロ街七〇
郵函　三六〇

カユビー・キシモト
法律事務所
元司法長官　辯護士
ドットール　アラリコ・カユビー
公證飜譯人　岸本次男
●事務所　ルア　ジョゼ・ボニフアシオ二三三番
三階　三一〇　三一一　三一二號室
電話　二一一三七
自宅　一一二四
郵函　三一九二四七

鑑識手帖　歸化　遺產相續　營業登錄
刑事民事　警察事項　內外諸官憲手續等
凡て法律事務に關し誠意を以て御相談に應ず

DR. SEITOKU ZAKIMI
BACHAREL, EM ECONOMIA,
BACHARELANDO DE DIREITO
TRADUCTOR JURAMENTADO
辯護士、公證飜譯人
座喜味盛德
聖市カールモ街一八番三階
電話　二一四三五八
自宅　五一〇二六三
郵函　三七三〇
△呼寄歸化
△遺產相續
△專賣特許
△營業登錄
△簿記整理
法律一般
公證飜譯

CASA HAMAOKA
Rua Ceres 106 C Postal 993 S. Paulo
施肥によつて增收と品質の向上を計りませう
配合肥料
バタタ
アルゴドン
トマテ
用
其他有機質及化學肥料一般
●御申込次第定價表差上ます
聖市　濱岡商店
電話　二一七五八一番

大阪商船
發着廣告

日本へ
北米經由　りをでじやねろ丸　サントス發　一月一日　横濱着　一月廿五日
南阿經由　あらびあ丸　サントス發　二月六日　神戸着　四月二日

日本よりへ
ケープより　もんでびでお丸　神戸發　十二月六日　サントス着　一月十九日
ベノスより　あらびあ丸　神戸發　十一月廿九日　サントス着　二月五日

詳細は弊社又は代理店へ御問合ヘ

サントス　ブラジル大阪商船會社
(Soc. de Nav. Osaka do Brasil Ltda.)
Rua Cidade do Toledo, 31 SANTOS
聖市　伯剌西爾大阪商船會社出張所
(Soc. de Nav. Osaka do Brasil Ltda.)
Filial de S. PAULO
Rua da Quitanda, 82 S. PAULO
リオ　Wilson Sons & Co. Ltda.
Avenida Rio Branco, 37

血盟五一五事件

永久我が史上に銘記せらる、五一五關係者の動靜

【東京特報】五・一五事件起りて既に七年の月日が流れた、前途有爲の若き陸海軍の人々と民間の三十六士に依つて擧げられた、この五・一五事件は永久に日本歷史の一頁に銘記せられなければならぬ全行動海軍側六氏、陸軍側十二氏、民間側十四名出獄した陸軍側の中島忠秋氏が北支戰線に皇國の礎として華と散り、同金清豐氏が不歸の客となりしは陸軍側公判辯論に畢生の努力を傾注した中川博士の急逝と共に惜みても餘りあるものであるがいま連座中の獄中に殘る人々は、民間橘孝三郎、奧田秀夫、池松武志、川崎長光、林正三横須賀喜久雄、塙五百枝、大貫明幹、小室力也、春田信義、高根澤興一、松浦孝義降、池袋正欽郎、久木田祐弘、田中邦雄、須田太郎五・一五事件民間側の憂鄕塾頭橘孝三郎、池松武志、奧田秀夫、川崎長光、林正三、堀川秀雄の十五氏に對して去月十七日突如特別減刑の恩命が下り、井上、小沼、菱沼の三氏は無期懲役から懲役廿年に、橘塾頭の懲役廿年（橘氏は昭和九年十二月、皇太子殿下の御降誕に伴ふ恩赦に依つて無期から廿年に減刑されて居る其他五・一五關係者はいづれも減刑の恩典に浴して居る）の殘刑期二分の一減刑をはじめ、他の十一氏は夫々刑期の二分の一に充たざるものに對しては殘刑期の二分の一を、又刑期二分の一を經過したものに對しては殘刑の四分の一を減刑され、刑務所長から此恩命を傳達された各氏は小菅刑務所に於て廣大無邊の皇恩に感泣したとの事である。

今回の特別減刑は一昨年十二月十一日憲法發布五十周記念日に際して特定の政治犯行者に對してのみ仰出された減刑、復權の恩赦に洩れた特定の人達にも特別減刑奏請の手續きをとる事が眞に聖旨に副ひ奉る所以であるとの解釋から鹽野法相、岩村次官、松坂刑事局長、秋山行刑局長等司法省首腦部に於て、全國係り檢事、刑務所長の申請に基き愼重人選した結果差當り以上の十五氏を特別減罰奏請の資格者と決定したものである。

然し特別減罰奏請の範圍は（一）其犯行動機が私利私慾に出發せざる國事犯者（二）恩典に浴したものと同一目的のものに同一事件の關係者でありながら大庭春雄氏は神奈川縣に農場を開き、伊東亀城氏は目下滿洲で活躍中、林正義氏は雜誌『あげぼの』に據つて皇道精神の宣揚につとめてゐる。

中村義雄氏は鄕里小倉市村山格之氏は佐賀の鄕里に何れも讀書生活に入り、山岸宏氏は東京にて讀書生活に入り、近く頭山氏の媒酌で萬里小路伯令孃々結婚する筈執行猶豫の塚野道雄氏は鄕里鹿兒島に藤井療法を以て大衆醫療に身を捧げてゐる。

——陸軍側——

八木春雄氏は滿洲國陸軍中尉にて某方面で活躍中、石關榮氏は八木氏と坂本冀一氏も亦同樣某方面に活躍中、吉原政己氏は曾て陸軍士官學校時代學術秀優で銀時計候補の一人であつたが目下某所で活躍、篠原市三郎、伊藤順助の兩氏も同樣野村三郎氏も滿洲國陸軍中尉、西川武敏氏は病氣で福岡の鄕里に、菅勤氏は茨城にて文孝太郎氏の水戸學を承繼、皇道精神精進、後藤映範氏は鄕里大分縣にて療養の傍ら歷史學を專攻中、吉氏の十五氏いづれも模範囚として所內の評判も高い

——海軍側——

目下北支にある大川周明博士は北支中支の開拓に備へる爲め支那移民の指導員を養成する計畫を立て關係各省の諒解の下に取敢ず試驗的に二十名の優秀なる青年に移民敎育を施す事になり、山岸元中尉元候補生等が直接指導監督に任じて居る、又本間憲一郎、頭山秀三らの二氏もそれ〴〵各方面で皇國の爲め活躍中である。

尙元海軍中尉古賀清志、同三上卓（刑期十五年）少尉、黑岩勇（刑期十三年）三氏は小菅刑務所に服役中であつたが、既に恩典に浴して出所した。

聖恩有難し特別減刑

無期から懲役二十年

聖旨奉體更に奏請されん

【東京特報】血盟團事件の盟主、井上日召、小沼正、菱沼五郎、古內榮司、四元義降、池袋正欽郎、久木田祐弘、田中邦雄、須田太郎五・一五事件民間側の憂鄕塾頭橘孝三郎、池松武志、奧田秀夫、川崎長光、林正三、堀川秀雄の十五氏に對して去月十七日突如特別減刑の恩命が下り、井上、小沼、菱沼の三氏は無期懲役から懲役廿年に、橘塾頭の懲役廿年（橘氏は昭和九年十二月、皇太子殿下の御降誕に伴ふ恩赦に依つて無期から廿年に減刑されて居る其他五・一五關係者はいづれも減刑の恩典に浴して居る）の殘刑期二分の一減刑をはじめ、他の十一氏は夫々刑期の二分の一に充たざるものに對しては殘刑期の二分の一を、又刑期二分の一を經過したものに對しては殘刑の四分の一を減刑され、刑務所長から此恩命を傳達された各氏は小菅刑務所に於て廣大無邊の皇恩に感泣したとの事である。

今回の特別減刑は一昨年十二月十一日憲法發布五十周記念日に際して特定の政治犯行者に對してのみ仰出された減刑、復權の恩赦に洩れた特定の人達にも特別減刑奏請の手續きをとる事が眞に聖旨に副ひ奉る所以であるとの解釋から鹽野法相、岩村次官、松坂刑事局長、秋山行刑局長等司法省首腦部に於て、全國係り檢事、刑務所長の申請に基き愼重人選した結果差當り以上の十五氏を特別減罰奏請の資格者と決定したものである。

然し特別減罰奏請の範圍は（一）其犯行動機が私利私慾に出發せざる國事犯者（二）恩典に浴したものと同一目的のものに同一事件の關係者でありながら以上二つの內容が兩事件關係者が今回の特別減罰の恩命に浴し得た輕緯である、司法當局は聖旨を奉體、更に引續き刑務所長、檢事からの申請に依つて受刑者の判決謄本、抄本、刑期決算書、犯罪の情狀、本人の性

生命有っての物種子

衛生的食養……（一）

在リオ　KS&T生

暑中には特に胃病に罹る人が多いやうに思はれるが何の病氣でもさうだが、殊に胃腸病にありては、食養法が最も重大な影響を有つて居る、そこで胃腸病專門大家に、この點の知識を求むることにした　（記者）

人間の身體は種々の原素から成り立てることは、何人も承知のことであると共に斯樣に巧妙に神秘的に造られた人體である以上、非常に多くの原素から成れるやうに考ふる人もあらう、されどこれを分析すると、僅かに炭素、酸素、水素、窒素、硫黃、圭素、燐、カリウム、クロール、ナトリウム、カルシウム、マグネシウム、沃度、砒素、鐵の十五素に過ぎないのである。

而してこの十五原素が化合すれば、有機物、無機物の三つとなるのである。

今試みに一片の肉塊をとりこれを攝氏百度以上の溫熱にて、數時間乾燥するとせんか、その肉塊の量目は或程度の減少を見る、これは水氣の蒸發せし結果であつてその減量は即ち肉の含有せし水分の量である。

△

尙ほ後に殘りし固形物即ち乾物を燒き盡すと、その大部分は燃燒して、その後には少量の灰のみを殘すのである、この際燃えてガスとなつたのは即ち有機物であつて、殘存せる灰が無機物又は礦物質と稱するものである、更にその有機物は窒素を含有せると否とにより、榮養學上無窒素有機物と含有窒素有機物の二つに分けられてゐる。

無窒素有機物は主として酸素、炭素、水素の三原素より成るものであつてこの種の主要なるものは（一）炭水化物又は含水炭素即ち澱粉、糖類、纖維素等（二）脂肪及鹽類（三）有機酸等である。

含窒素有機物は、主として炭素、酸素、水素、窒素の四原素より成れるも中にはその他に硫黃、燐等を含むものもある、この種の主要なるものは、（1）蛋白質（2）アミド化合物である。

前述せし如く人體は種々の原素より成り、その消費の補給は一に食物の攝取によらねばならぬ、從つてまたその食物は、人體を組成せる原素と同樣なるものを含有せるものたるを要するのであるが、食品（食品はこれを吾が食するに於ては即ち食物となるのである）中には此等の原素が種々の形に於て化合して存するもので、その主要なる成分は蛋白質、脂肪、含水炭素、鐵物質（灰分）水分の五種である、即ちこれ等を稱して榮養素と云ふのであるが、更に近年ヴヰタミン訣が發表せられて後これも亦榮養上最も重要なものとせられてゐる。

本來食物の人體に於ける關係は、例へば電氣と電車の關係に於けるが如きもので、若し電氣の供給が斷たらるゝに於ては忽ち電車の運轉は止まると同樣に、入間にして若し食物の攝取を得ざれば、その生活現象は斷絕するのである、人間が活きて居る以上は、身體の活動と精神の作用とが必要であり、且つ寒暑に處しても常に三十六度五分に一定した體溫を保有してゆかねばならぬ、或はまた幼少の者に於ては、その固有の發育と成長をも遂げねばならぬ。

△

而してこれ等の生活現象を持續して行かうとするには、必ず身體諸成分の或るものは、日々消費されるから其の消費に對しては、外界より適富なる物質を取つて補給せねばならぬ。

△

即ちこゝに食物の攝取が必要となるのである、換言すれば一定の成分を食物によつて攝取し、それを或は分解し、或は酸化せしめて其成分が日光より接受して抱擁し來たりたるエネルギーを身體內に於て活力に變ずるものである、斯の如く吾々は活力の原動力となるべき物質を、外界に求めて一日も停止することがないこれを榮養物の攝取と稱するのである。

判決を受けた管轄裁判所の相違から言渡し罪名の差異に依つて恩赦に浴し得なかつた特殊事情にあるものに對する不均衡除去の二つに限定。

即ち普通の減罰（例へば最近の昭和九年二月、昨年二月の恩赦等）が一定の罪名を限定されて行はれたに對して、今回の特別減罰は前記の二つの事情に該當する一定の人物を限定して行はれたと云ふ相違があるのである。

然らば何故に血盟團五・一五民間側關係者十五名が奏請されたかは、兩事件關係者共私利私慾の犯行でない事は確定判決書に依つて明白であり、更に橘氏等五・一五事件民間側關係者は海軍の古賀三上兩中尉等、陸軍の石關榮氏等士官候補生と合一目的に向つて同一事件に從つて起訴されながら身分關係から、軍屬者は陸、海軍々法會議橘氏等は東京地方裁判所と分離されて審理された結果、軍法會議は反亂罪と判決したに對し、橘氏等は殺人、爆發物取締罰則違反等の罪名で處斷され、罪名相違のまゝ、服罪、反亂內亂、請願令違反罪等の特殊政治犯罪に限定された昨年二月の恩赦に古賀三上氏等の關係者が減罰の恩典に浴し得たのに、內亂罪の判決を受けなかつた橘氏等だけが恩赦に入らなかつた不均衡があつたもので

稀有の風雨で

二百戶倒壞

セントラール線で

【中央線ガラチンゲタ】八日夜八時より十二時まで續いた大暴風で、市內外の電燈電話線は切斷され二百戶の住家はパライバ河の氾濫で浸水して倒壞したり押し流されたりの大慘狀を呈し、電燈も無い眞ツ黑闇の中を悲鳴を揚げて右往左往する避難民などで未曾有の混雜を極めたが、リオ方面よりの消防隊と軍隊の出動應援で救助されたので、多數の怪我人は出たが幸に死者を出さなかつた

油斷出來ないシダーデ

五日午后八時市內サンベント街を、通行中のブラジレイラ、アルヴイナ、バツツオ（三〇）女はシネマロザリオの前に差しかゝるや通り掛りの三人組不良青年に襲はれ携帶して居た八十ミル入の手提げを强奪された、まだ人通りも賑やかな宵の口、然もシダーデ目ぬきの場所であつたゞけ街の話題となつて居る

獄中改悛したアルカポネ出獄

【シカゴ發】一九三一年からカルカトラス監獄に服役中の、世界的著名ギヤングアル、カポネ（四七）は本月五日三万七千六十九弗の保釋金を納めたので來る十九日假出獄を許される筈であるが、同人は獄中願るマジメで改悛の情著しきものがあり且つ腦病の爲めシカゴ病院に入院加療すると言はれてゐる

近く改正さる電話料

回數制を採用

聖市々內の每月電話料率は從來ファミリアール三〇ミル、ネゴショA級六〇ミルB級七〇ミルであつた處各一〇ミルづゝ、値上げされるが、目下電話會社から市役所に許下申請して居るところに依ると、電話料は回數制を採用し（ファミリアールを除き）ネゴシオ用は總て一ケ月五五ミルと定め百五十回呼出しの權利を與へるが、一ケ月間の呼出數百五十回までは一回に對し二百レース、其れ以上の超過に對しては每回百五十レースづつを徵收すると

軍用患者輸送飛行機

献納運動の其後

一日も速に目的を達成せしめよ

銃後青年會並にブラジル中央日本人會が主唱するところの軍用患者輸送飛行機献納資金募集運動は、當事者の熱誠と之れに應ずる在留同胞就中青年層の愛國義氣とで、僅々四ケ月にして既に二百八十コントスを突破したと云ふ、即ち所要資金五百五十コントスの半額に達したわけであるが、斯の如き擧は一日も速に目的を達してこそ献納の甲斐が有ると云ふもの、主唱者側では募集締切期日を今月三十一日迄延ばし是非共それまでに豫定の獻金をまとめ度いと大車輪で努力して居るが、在留邦人家族五万もあることであるから在伯日本臣民の面目にかけても素志貫徹に協力したいものである。

アラサツーバ便り

一日當市學園に於て恒例日會主催新年四方拜賀式を擧行、小學生を初め一般父兄有志多數參列して皇運の彌榮を壽ぎ、次いで皇軍の武運長久を祈り時變下の新年を嚴肅裡に迎へた

翌二日午前十一時より當學園に於て敎普會第六支部主事本年本年中に完成させると意氣込んでゐる。

事上野克男氏の送別會が盛大に催された

因に上野主事は當地在勤十ケ月に足らぬ短日月にも拘らず氏の敎育方面に就ての功績は立派なもので、現下敎育非常時に當りバウルー轉勤は當地在住者から非常に惜まれてゐる。

私有庭園から市公園へ

アクリマソンが每年天長節祝賀會に日本人におなじみの『アクリマソン庭園』は素封家マセド、コスタ及びポテーリヨ、フイリヨ兩氏の私有であり昨年危く貸長屋地帶化して身賣りされる處であつたが市當局では、折角閑靜な天然園（八アルケール）を惜しい事だとて之を買取り從來の狀態ではいけないとて徹底的大改造を加へ、聖市中最も完備した代表的公園と爲すべく近くその工作に着手し

◉小生旅行中

【南舟生】

關係は、例へば電氣と電車の關係に於けるが如きもので、若し電氣の供給が斷たらるゝに於ては忽ち電車の運轉は止まると同樣に、入間にして若し食物の攝取を得ざれば、その生活現象は斷絕するのである、人間が活きて居る以上は、身體の活動と精神の作用とが必要であり、且つ寒暑に處しても常に三十六度五分に一定した體溫を保有してゆかねばならぬ、或はまた幼少の者に於ては、その固有の發育と成長をも遂げねばならぬ。

△

而してこれ等の生活現象を持續して行かうとするには、必ず身體諸成分の或るものは、日々消費されるから其の消費に對しては、外界より適富なる物質を取つて補給せねばならぬ。

△

即ちこゝに食物の攝取が必要となるのである、換言すれば一定の成分を食物によつて攝取し、それを或は分解し、或は酸化せしめて其成分が日光より接受して抱擁し來たりたるエネルギーを身體內に於て活力に變ずるものである、斯の如く吾々は活力の原動力となるべき物質を、外界に求めて一日も停止することがないこれを榮養物の攝取と稱するのである。

主要產物市況

【一月十一日現在】

●カフエー（四級品）一九、九〇〇
●アルゴドン（五級品）四八、五〇〇
●白米（アゲーリヤ）買値 六五、〇〇〇
エストラ　ポン　買値 五二、〇〇〇
●フエジヨン　四六、〇〇〇
ムラチーニヨ　四〇、〇〇〇
同上ポン
●ミーリヨ　三二、〇〇〇
アマレリニヨ　二九、〇〇〇
アマレロン　買値
●バタチンニヤ　三三、〇〇〇
スペリオル　三〇、〇〇〇
ポ　ア
●メリケン粉　一等品　三七、〇〇〇
●砂糖（白極上）六七、〇〇〇
●バンニヤ（箱）一九二、〇〇〇
●マモーナ　四八〇

爲替相場

對日　五、七〇〇
對英　八二、七七〇
對米　一七、七〇〇

聖市グローリア街三五二
電話二一六八四八
淺倉齒科院
●每日曜日コチアへ出張診療（室永氏方）
Rua da Gloria 352 S.Paulo
(Largo do S.Paulo)

迎も靜かで
ごゆつくり
お遊び願へる
料亭？
千鳥
ピネイロス　フエル
ナンチアス　五二

鍛冶職見習

將來鍛冶職を以て世に立たむとする鐵石の意志を有する第二世、親も子も眞劍に其氣になつて居る者お前途を樂しみにして弟子としてお預りします希望者は左記へ御來談下さい

聖市　ピネイロス
ミゲル・イザサ街四
坂野鐵工所

診察　午前九時ヨリ
時間　午後五時マデ
北大醫學士
今田求
リンス市
電話　一四三
郵函　二〇三

茶の湯道具

日本からの茶の湯道具を讓り受け度し、南米新報社まで御一報相煩はしたし【電話七一一六一四】

入學受付開始

（日本語、伯國語）

締切　一月廿五日限り
新學期開始　二月一日午前八時
受付時間　ヴアスコンデダコスタ街二時間午前八時より午后五時迄
受付時間　ガルヴオシブエノ街二九七時間午前九時より午后四時迄

男子小學校
女子小學校
入學資格——滿七才以上

準備科　本科の入學資格はグルツポ・エスコーラ卒業又は同等の資格あるもの

寄宿舍　滿七才以上にて今年度新入舍許可人員十八名迄

附屬不二幼稚園——年齡滿四才以上の男女受付場所及び時間は女子小學校の通り

サンパウロ市
聖フランシスコ學園
電話　三一〇四一〇
RUA VISCONDE DA COSTA, 2

求人

△齒科技工見習生

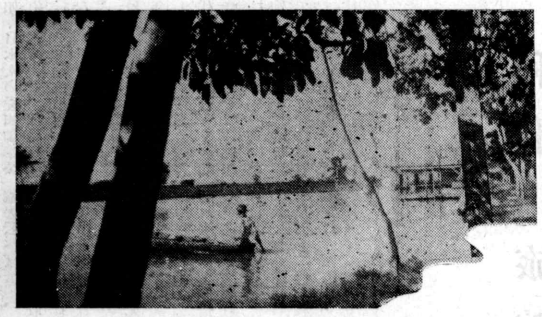
將來齒科技工家として立ちたい身元確實なる少年を見習生として採用す

希望者は至急左記へ來談せられよ

市內　ルア、リベロ、バダロー九四
電話　二一五八九六
DENTISTA Novaes Silvio Manoel

北西線唯一の遊園池！

何處まで行つても果てない……
……赤い土ほこりのノロエステ線……
……里を忘れぬ……
……殊に山高く水清き里を忘れぬ……
……日本人の集團する奧地に……
……たつた一つのオアシス……
……殺風景なノロエステにも……
……斯んな美しい靜寂な水鄕が有つたのかと……
……來て見て誰れでも驚かぬ人は無い……
……アラサツーバ、サフイオテ遊園池……
……どうぞ一度見物旁々御清遊にお出かけ下さい



水泳ぎ、舟遊び快適、池畔の靜座讀書にも好適、更に鮮魚で一杯きこし召せば尙更妙

●——御宴會、團體御來遊も歡迎

アラサツーバ市
サフイオテ遊園池
經營者
白石次雄

昭和拾四年度徵集延期

二關スル告示

昭和十四年度徵集延期關係者ハ左記事項心得ノ上昭和十四年壹月卅壹日迄ニ帝國外徵集延期願又ハ在留申告書ヲ差出スヘシ

尙本件ニ關スル屆出義務ヲ怠リタル場合ハ徵兵令規定ニ依リ嚴重處罰セラルルニ付特ニ注意ス

記

一、帝國外徵集延期願
大正七年拾貳月貳日ヨリ大正八年拾貳月壹日迄ニ生レタル者（即チ今回初メテ徵集延期ヲ願ハントスル者）ハ在帝國外徵集延期願ヲ壹月卅壹日迄ニ差出スヘシ（書式參照）

二、在留申告書
既ニ徵集延期ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ引續キ昭和十四年度徵集延期ヲ願ハントスル者『明治卅四年拾貳月貳日ヨリ大正七年拾貳月卅壹日ノ間ニ生レタル者）ハ在留申告書ヲ壹月卅壹日迄ニ差出スヘシ（書式參照）但シ昭和拾參年拾貳月壹日ニ年齡滿卅七年ヲ過クル者ハ在留申告書ヲ提出スル要ナシ

三、在留申告書及在帝國外徵集延期願ノ『日附』ハ昭和拾參年拾貳月壹日以降ト爲スコト、尙右書類ノ受付ハ便宜上拾壹月壹日ヨリ開始ス

四、在留申告書及在帝國外徵集延期願ハ直接管轄公館ヨリ本人ノ本籍地府縣廳宛四月拾五日迄ニ到着スル樣發送スルヲ要スルニ付必ス壹月卅壹日迄ニ提出スルコト期日後ノ願出ハ之ヲ受理セス

五、願書ハ正副式通提出スルコト

手數料送付ノ要ナキモ願書到着ノ通知ヲ希望スル者ハ返信料同封ノコト

六、在帝國外徵集延期願及在留申告書ハ各管轄領事宛提出スルコト

七、願書用紙ハ**ブロツク**大ニテ必ス白紙タルコト可成地方青年會又ハ日本人會ニテ用紙ヲ統一シ願書ハ取纏メ提出スルコト

八、郵送ノ分ハ封筒面ニ『徵兵關係』ト記入スルコト

九、在留申告書及在帝國外徵集延期ノ樣式左ノ如シ

一、本人　（生年月日）　氏名
二、本籍地　府縣市町村大字番地
三、現在留地　伯國州郡縣驛郵函植民地
四、初メテ徵集ヲ延期セラレタル年月日　年　月　日
右及申告候也
昭和　年　月　日
右氏名（印）

◉◉注意
イ、末尾ニ領事名ヲ記載セサルコト
ロ、證明余白ヲ殘シ置クコト
ハ、毋印ヲ忘レサルコト

在帝國外徵集延期願
一、本人　（生年月日）　氏名
二、本籍地　府縣市町村大字番地
三、在留地　伯國州郡縣驛郵函植民地
四、帝國內出發年月日　年　月　日　港出發
右之通帝國外ノ地ニ在留中ニ付兵役法第四十二條ニヨリ徵集延期相成度候也
昭和　年　月　日
右氏名（印）
聯隊區
徵兵官　殿

◉◉注意
イ、領事名ハ記載セサルコト
ロ、證明余白ヲ殘シ置クコト
昭和拾參年拾月壹日

在サンパウロ帝國總領事館　郵函一一六七
在リベロン・プレート分館　郵函一一四四
在サントス帝國領事館　郵函六六六
在バウルー國領事館　郵函A三〇
在リオ・デ・ジヤネイロ帝國領事館　郵函三〇
在ベーレン帝國領事館　郵函四二八

Redacção e Administração
Rua Piresda Motta, 381 S.Paulo
Tel. 7-1614

NAMBEI SHIMPO

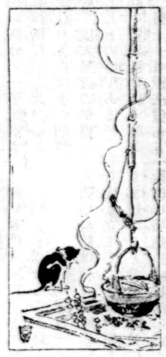
Director J. V. França　　Proprietario Paulo Iquenaga

S. Paulo, 12 de JANEIRO de 1939

（小説）

三吉孝義傳

眞間閑人



（五）

一刻ばかりの後、松五郎と三吉を先頭にして五郎兵衛權作等四人の姿は、秋川村の豪農山野八衛門の邸に現はれた。二兩の貸金を抵當にして、貧農五郎兵衛の娘お芳を毒牙にかけやうとした八衛門は、昨夕使にやつた權作が、待てど暮らせど歸らぬのに劫をにやして今しも使のものを五郎兵衛の元へ出さうとして居るところだつた。

『何、權と五郎兵衛と、それに二人の客衆がついて歸つて來た……』

小女の告げで、四人の來宅を知つた八衛門は、不審に思ひ乍ら、庭先へ出て見ると、見知らぬ二人の若者の後方に、權作が畏つてついて居る。

『權作……われ何うして昨夜歸つて來なかつただ、心配して、今人出すべいとしたところだぞ。』

と云ふ言葉を、先に立つた松五郎が引取つて

『その御返事は、俺からしませう、だが、それより先きに、先づこの五郎兵衛さんが、御前さんから御貸り申したと云ふ二兩の金子、今確かに御返へし申しますから、御受取なすつて下さいまし。』

と二兩の金を差出して、五郎兵衛と共に一禮した。八衛門は意外の面地ながら、兎も角も貸したに相違ない二兩の金を、今更それは娘の身代とも云兼ねて、澁々ながらそれを手に取る、と松五郎は又言葉をついた。

『時に御主人、御返金した上は、證文は直ぐ御渡し下さるでござりませうな』

『それは返さぬとは云はねえだが、一體御前さんは誰方だネ。』

『それは申遲れてすみません、俺や府中新宿の松五郎と云ふもので、不思議な御緣でこゝに居る江戸芝口の三吉さんや、又この五郎兵衛さんと御知己になりまして、それで參上したのでござります』

一癖有氣なその面魂に、八衛門も心中怖氣立つて早速證文を持出して來て、それを五郎兵衛に渡すのだつた

松五郎は、その證文を五郎兵衛と共に篤と檢めて

『へゝ、それで結構でござります、永々の拜借を御禮申上げますが、外に何かこの事につきまして御話は無いでございませうか、一寸後日の爲めに伺つて置きたうございますので』

『イヤ……別段何もありましねえだ……』

八衛門はこれで全然目算が外れたから、忌々し氣に斯ふ云ふと、松五郎は急に振り返つて權作をにらみつけ

『ヤイ權作、五郎兵衛さんの御話ちや金の代りに娘を妾に出せつて御主人が云つたといふが、そりや手前のつくり言だつたのだな、何ぼ大家の御威光でも、僅か二兩のハシタ金で大事な娘を人身御供たあ、あんまり罰當りの强慾だと思つたら、矢張り手前の御べんちやらだつたんだ……併し、若し又二度とそんな事を五郎兵衛さんの處へ云つて來やがると、今度こそは只は置かねえから、ハツキリ茲で御主人樣の前で斷つて置く、どうか御主人樣も其おつもりで聞いて置いておくんなさい』

ヂロリと見上げた松五郎の一睨みに、八衛門はハツとなつてその儘面を伏せてしまつた。三吉は此體を見ると思はず進み出て、松五郎の前に頭を下げ

『松五郎さん、何から何まで貴君の御蔭で無事に濟みました。私もそれで安心して江戸へ歸れます』

と心から喜びを云ふのだつた。

△

芝口の口入業『むさし屋』の店先で、番頭の金兵衛と手代の才助が何かヒソ〳〵密談を交して居る。

『だが番頭さんは流石に眼が高いネ……タツタ二兩で、あの代物を……』

『シーツ……聲が高い、聲が高い、壁に耳ある世のならはし。』

『チエツ……假聲もねえもんだ……だが一體、代物の納め所は……』

『サ、いづれ行先は定まつちやア居るが、さしづめ浅草の去る御隱居……』

『ナル程……だが、其御隱居テエのが無い時には』

『そりや無いことは無い、チヤンとある。』

『へゝ、すると、早速今日にでも連れて行くンですか。』

『まア、さうだネ……あんな田舍の爺さんだから、まさか大丈夫とは思ふけれど……若し又八王子在から出てでも來られると困るからナ。』

『イヤ、その田舍爺さんがイケねえんで……大抵頑固でバカに几帳面と來てやがる』

『しきりに話してゐる最中に奥から出て來たのは、この家の主人幸左衛門だつた、

『番頭さん、さつき連れて來た田舍娘は、どこゞ宜い口がありましたかネ』

『ヘイ〳〵、恰度下谷菊川町のさる問屋さんの御いんきよが、小間使ひゞ探しゝゐらつしやるので、そつちへ向けるやうにしてございます』

『さうか……それはよかつた、大層おとなしい良い娘……田舍者とは思はれぬほどだが、何か深い事情でもあるのか、それとも親に別れて來たさびしさからか知れぬが、今もあそこで、ヒソ〳〵と泣いてゐる……樣子……今更云ふ迄もないがお前方も、あ、云ふ人達には、充分目をかけて優しく親切にしてやつて下さい、別段用もないが一寸それを云ひ度いために出て來ました』

と云ひ棄て、又奥へ這入つて行くのだつた。

子供達がジヤンケンポンで爭ふ

蛇と蛙となめくじは果して相制するか？

古來言傳へたる三すくみは俗說

興味ある夏の經驗

【承前】

田父へびくびひかへるとして『ガマの大なるもの也。能く蛇を食す』とあつて、このかへるに逢はれると蛇は逃げられなくなつて、尾を口に入れると皮は損じないのに肉がなくなると書いてあつた。これはつまりガマと同じものであらう。最近の事であるが、何十匹といふ縞蛇と一所にがまが四五匹さゝんとしてかしこまつてゐるのを見たのは滑稽であつた。要するにがまが蛇を恐れず、かへつてこれを食べる事は昔しも今も廣く知られてゐる事實であるのであつた、これもある夏の經驗であつた。

□

私は一人の知人と深い森の中を歩いてゐた。この時さんすくみの話が出て一つ實驗して見ようといふ事になつた。幸ひこの山中には きびゝ悪い程太くて長いナメクジが澤山にゐるので、多分やまなめくじと云ふ種類であらう、それを一匹捕へて木の葉でくるんで蛇に出會はないかと歩いて行つた、こんな時には、いちの悪いもので仲々蛇に會はなかつたが、やつと一つ小さいやまかゞしを見つけたので、早速捕へてさつきのナメクジをその頭の邊にぬつて見た、成る程蛇はぐつたりした、然し暫く放置しておいたら元氣になつて杖でついたら逃げそうにした、そこで又つけたら同じやうに弱つた、この實驗を三四度くりかへしたが、實際ナメクジが蛇を弱らすことが出來ると云ふ事實を知つたが、たゞ大きな蛇を使ふことが出來なかつたのが殘念であつた。

□

何はともあれナメクジの身體から出る粘液のなにか化學的成分が効くので、それが食はれないやうに保護されてゐるのであらうといふ想像はされたが、勿論ナメクジが蛇を襲ふ事はあるまい。又蛇がナメクジを全然食はないといふ事も確められなかつた。最後の蛙とナメクジの場合であるが、蛙がナメクジを食ふものやらどうやら實驗して見た事はないが、小さな種類の蛙がナメクジを食ふかどうかあやしいと思ふ。要するにさんすくみなるものは俗說ではないであらうか。余談であるがさんすくみについて面白い話がある。青森縣の十和田の山つゞきの八甲田山に一人の名物男がゐて山中は何處でも知つてゐるが、人一人位背負つて平氣で險しい山道を上下する。この男が又變つた男で山の中で例の大きなナメクジを見るとつかんで一のみにしてしまふ。蛇やがまを見るとすぐつかまへてポケットへしまひこむ。大きながまなどは腰のなたで一刀兩斷頭と胴と離されてしまふ。この男に逢つたらさんすくみもあつたものではない。氣の小さいものは見てひやゝ〳〵する。所がこの男の云ひ草が面白い。蛇と蛙とナメクジとを一所に食ふと非常に丈夫になつて力强くなる。肺病などは立所に吹き飛んでしまふ。なんでも蛇の照燒に、蛙のナマスに、ナメクジの吸物を食べそゝいゝと云ふのである。そこでこの男は力が强くて丈夫であるのかもしれない。之で此男は軍隊で喇叭卒をつとめ、雪中行軍して大吹雪に遭ひ一部隊全滅した時に捜索隊に加つた一人であるさうである。此男も此男であるが、とにかくへビも蛙もナメクジもあまりきびゝい、ものではない。人間から見てさんすくみであるのであらう。

義憤？公憤？

何んでも持つて來い！

同志論壇

母國朝野の輿論喚起へ

リンス　鳥居敏

拜啓　年と共に益々發展途上に在る貴社の業績を年始に當り大にお祝し申上候

説は、近來に於ける最大痛快事かと存じ候

我々在伯細民否棄民が如何に聲を大にして叫ぶとも母國の有識者には、或は逆的に諺ゆる引かれ者の小唄との自覺自尊心の缺けたる愚物共の事にして、少くとも志有る人々の等しく共鳴して止まざる處と考へ申候殊に新年號劈頭に於ける巨彈『國策に對應せよ』の論説は、近來に於ける最大痛快事かと存じ候

我々在伯細民否棄民が如何に聲を大にして叫ぶとも母國の有識者には、或は逆的に諺ゆる引かれ者の小唄との自覺自尊心の缺けたる愚物共の事にして、少くとも志有る人々の等しく共鳴して止まざる處と考へ申候殊に新年號劈頭に於ける巨彈『國策に對應せよ』の論説は、近來に於ける最大痛快事かと存じ候

我々在伯細民否棄民が如何に聲を大にして叫ぶとも母國の有識者には、或は逆的に諺ゆる引かれ者の小唄

迷論者流

世上、往々にして日本主義を主張するグループ乃至日本主義的言論（本社の如きその一に算へられては居るが）を高調するものを稱して『過激』『極端』或は『偏狂』と云つた形容詞を冠するものがあるが、其謂ゆる『過激極端偏狂』とは果して何か？、彼等の云ふ形容詞には色々な意味があるだらうが、その本心は思想に對し乃至は言論に對する正邪の認識ではなく、實行力を有するグループ又は革新的な正論に對する恐怖に基く非難であることは一目瞭然だ。

○

一體日本人が主張する日本主義に過激も極端も偏狂もへチマも有り得る道理がないのだ、日本人の忠義と孝にはもう是處迄で可いと云ふ限度はなく、徹底すればする程よいのである。

併し一般俗流では目前の私利私慾の追求に忙しく、其時々の御都合主義からソコ迄徹底すゝ事が出來ない、だから多少徹底した人物を見ると變り者偏狂と稱し、狂愚と嘲り果ては危險人物と罵り却つて危惧と畏怖を感するのだ、畢竟、彼等に透徹した認識がなく從つてその心境を理解すゝに到らぬが爲めに他ならぬ。

○

忠孝に極端も蜂の頭もなく如く日本人の愛國御奉公の道は古今一貫、時局や時世に依つて高底出沒の變化あるべき道理はないのであるが、大楠公の誠忠を以てさへ足利の時代にあつては三百年間賊名を蒙つた程だ。併し如何なる大逆潮大暗黑時代にあつても否かくの如き時代に於こそ、敢然起つて大義正論を唱へ道の爲に殉ずるのが、御民我等の道である、孔子は、自ら省みて直くんば千萬人と雖も我往かんと云つた、過激極端と云へば云へゝ、偏狂者と罵らば罵れ、我敢て極端偏狂たらん、但し日本人でありながら似而非日本人や皇室の尊嚴、神州の體面を汚して恥無き不逞兇逆の奴原に對しては、その『過激極端』なると否とを問はず、斷々乎として假借する處なく、之れを誅滅打倒しなければならぬ。

敢て世の迷論者流に一言し、而して他面我々と志を同じうする人々の決意を促さんとするものである。

○

世上、往々にして日本主義を主張するグループ乃至日本主義的言論（本社の如きその一に算へられては居るが）を高調するものを稱して『過激』『極端』或は『偏狂』と云つた形容詞を冠するものがあるが、其謂ゆる『過激極端偏狂』とは果して何か？、彼等の云ふ形容詞には色々な意味があるだらうが、その本心は思想に對し乃至は言論に對する正邪の認識ではなく、實行力を有するグループ又は革新的な正論に對する恐怖に基く非難であることは一目瞭然だ。

○

一體日本人が主張する日本主義に過激も極端も偏狂もへチマも有り得る道理がないのだ、日本人の忠義と孝にはもう是處迄で可いと云ふ限度はなく、徹底すればする程よいのである。

併し一般俗流では目前の私利私慾の追求に忙しく、其時々の御都合主義からソコ迄徹底すゝ事が出來ない、だから多少徹底した人物を見ると變り者偏狂と稱し、狂愚と嘲り果ては危險人物と罵り却つて危惧と畏怖を感するのだ、畢竟、彼等に透徹した認識がなく從つてその心境を理解すゝに到らぬが爲めに他ならぬ。

○

忠孝に極端も蜂の頭もな

死んでしまえば
おさらばさらば
生きてゐるのは
花じやものの

さあさ元氣で
どんとゆけどんと
男度胸の
綱渡り

リンス　堀田野情

どんと行け行け
男じやないか
何をこれしき
苦にするな

オゾンが出來る事は明かな事であり、それが酸素に分解する時に、恐ろしい精力を出すから、爆發する事もあり得る事である。問題は、それが何故に、球になつて居るかと云ふ點にあつて、その作用は不明である

○——○

又、同じ樣な化學的の說明として、活性窒素の說もある。窒素は、普通は非常に化學的の方が弱いものであるが、强い電場に入ると活性窒素になり、電流を切つてから後までも、光つて居ることがある。この活性窒素は、原子の窒素と、分子の窒素との中間にあるもので、まだその性質はよく分つて居ないが、面白い問題である。然し前の場合と同樣に、何故そのガスが塊となつてゐるかといふ點が不明である。

○——○

中央氣象台の技師の人で富士登山の記錄に、球電が山腹をころげる事があると云ふ樣な話を讀んだ事がある。山岳地方には、きつともつと面白い話が澤山ある。

○——○

球電の大きさは、滿月位のものから、拳位のものまであるさうである。そこで雷雲から出た球が、石か流星の樣に、眞直に地面に落ちて來るものもある。この時には大抵は、その前か後ろに、線條電光が、それと同じ道を通るさうである。

積亂雲の彼方を馳る

雷と電光の話（六）

（この電光の麗しさと不思議さを見る事も夏の樂みの一つである）

之れは矢張り、イオン化した空氣の橋があつて、その道を通る放電の頭だけが光るものであらうと思はれる寫眞乾板の上に感應起電機の兩極をのせて、之に似た現象を示す事も出來る。

○——○

又時には、雲から出た火の球が、斜に空を馳せて、他の雲に入る事もあり、又もとの雲に歸る事もある相であるが、多くの場合には非常に不思議な事であるがこの火球は、途中で爆發して、恐しい響を出して、四方に飛び散る事がある。

球電の說明として、この爆發をする點より察して、又爆發した際には、强い刺戟的な香を出す點より、之を、强い電場でオゾンが出來て、それが不可解な作用を受けて、塊になつたものではなからうかと云ふ說もある。

安瀬
ANZE MOLIZI
CAIXA POSTAL · 300
ARAÇATUBA N.O.B.

▽……お泊り心地の好いお宿

和歌山旅館

市内　コンセレイロ　フルタード
七〇　電話　二—八三四九
（舊上地旅館）

本店　アラサツーバ市
事務所　精米所　珈琲倉庫
電話五四　郵函三〇〇

安瀬商會

支店　アグアリンパ
内外雜貨　食料品
珈琲　フバ工場
支店　ヴァルバライゾ

同胞文化の温床

——受書と寸評——

新年草々御懇篤なる年賀狀辱ふし玆に紙上を以て厚く御禮申上ます

南米新報社

●黎明十二月號文敎普及會特筆すべき記事としては芙蓉生氏の『邦語敎育問題私見』及宮本氏の『日本美術の解說』だ殊に前者の『伯國出生の日系伯人をして邦語小學敎師に當らせること、之れが爲めに少くとも育英生に日本語修得の義務を强制しても好い筈だ』は名論、政府の補助金で勉强させて貰ふものが、日本語が解らんでは濟まされまい之れを邦語敎育に利用すると云ふことは至極當然な考へ方であると思ふ

●産業のブラジル十二月號

ブラジル拓植組合卷頭『農業經營のカンドコロ』は愈々佳境に這入つて來た、その結語の『鄕土を離れ、同時に心の内の故鄕を失つたのである、それは自由な生活者であるやうだが實は最も憐れむべき放浪者である』とは道破して妙

●球陽第二十二號

在伯球陽協會百六十六頁その分量内容から云つても會誌といふよりも堂々たる趣味の雜誌、在伯邦人諸團体中會誌の白眉であう。

軍用患者輸送飛行機獻納資金募集廣告

本計畫發表セラレテヨリ僅カニ四ケ月デアリマスガ、我ガ在留同胞ノ熱誠ノホトバシル所既ニ二百八十コントス餘ノ淨財ガ集マリマシタ。殊ニ未ダ財力豐カナリトハ申セザル青年層ニ此ノ報國獻金ノ多キ事ヲ見ルハ實ニ感激ニ堪エザル所デアリマス。日支事變ハ昭和十四年ノ新春ヲ迎ヘテ前途ハ未ダ遼遠デアリマス。我ガ母國ニ於テハ老若男女貧富ヲ問ハズ、一同鐵ノ如ク結束シテ鈍後ノ固メヲ强ウシ、如何ナル困難ヲモ征服シテ東洋平和確立ノ聖戰ノ目的貫徹ノタメ邁進致シテ居ルノデアリマシテ、苟クモ大和民族ノ血ヲ享ケタル在留同胞モ之ヲ傍觀スル如キ到底許サレザル處デアリマス。在留邦人約五萬戸デアリマスガ、一戸平均十ミル獻金シテ戴ケバ立ドコロニ**ブラジル**號作製資金ハ完充スルノデアリマシテ、邦家ノ爲メニ肉ヲ削リ骨ヲ碎キ或ハ病ニ倒レタ我ガ忠勇ナル將兵ヲ近キ將來ニ於テ日支ノ空ニ輸送スル事ガ出來ルノデアリマス。獻金募集締切ハ昨年末デアリマシタガ更ニ一ケ月延長致シマス

何卒日本人トシテ國ニ報ト得ル此ノ千載一遇ノ秋ニ於テ、一層ノ御盡力ヲ在留同胞各位ニ御願ヒ致ス次第デアリマス。

一、飛行機ノ名稱及機能——軍用患者輸送飛行機『**ブラジル**號』或ハ當局ノ指圖ニ依リ適當ニ命名ス、右飛行機ハ當局ニ御願ヒシテ日本内地ニテ作製スルモノニテ、重症患者ナラバ約六人、輕症患者ナラ約十人輸送可能ノモノ

一、獻納先——陸軍省

一、輸送飛行機獻納資金募集額——伯貨五百五十コントス

一、募集金額一戸十ミル（端數ナシ一口以上）——送金ハナルベク各地日本人會、青年會、産業組合等團體ニテ御纏メ御送リドサラバ好都合デアリマス

一、送金方法——**コンバロール**（COM VALOR）又ハ送金小切手ヲ書留郵便ニテ御送附ノ事、聖市内ハ現金御持參被下度シ

一、送リ先

ブラジル中央日本人會宛

ブラジル中央日本人會

Centro Nipponico do Brasil

R. RIACHUELO, 11 - A C. POSTAL, 2630 S. PAULO

猶**カーザ・バンカリア・ブラ**拓（Casa Bancaria Bratac）東山（Casa Bancaria Tozan Ltda.）及海興（Casa Bancaria Immigratorio Limitada）ヲ取引銀行トシテアリマスカラ同行ニ於ケル中央日會口座ニ振込ミ被下レテモ宜シクアリマス

一、募集締切　本年一月三十一日迄

一、領收書ハ入金毎ニ差出シマスガ、猶邦字新聞ニ廣告致シ領收ニ代ヘマス

一、患者輸送機ハ戰地以外ニモ使用セラル、モノデアリマスカラ假リニ締切期迄ニ戰爭終了シテモ獻納致シマス。又萬一締切期日迄ニ所定ノ金額ガ集マラナカツタ場合ハ繼續事業トシテコレヲ行ヒ必ズ目的ヲ達成致シタイト切望シマス

ブラジル中央日本人會

銃後青年會